

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

西三国小	学校
------	----

児童数	101人
-----	------

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	^{20m} シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.43	17.14	35.70	38.75	43.39	9.86	147.33	18.57	52.21
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.31	17.38	38.34	35.17	32.50	10.37	137.34	10.62	49.60
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

○体力合計点において、男子は大阪市の軽金を上回って。実技では、男子は50m走において大阪市平均・全国平均ともに上回っていた。女子は握力、50m走の2種目において大阪市平均・全国平均ともに上回っていた。

○質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、男子は肯定的な回答が92.8%、女子は83.3%であり、大阪市平均・全国平均ともに下回っていた。

○1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合では、男子は10%であり、大阪市平均・全国平均より定期的に運動する時間の割合が低かった。女子は26%であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

・運営に関する計画の【基本的な方向5、健やかな体の育成】

○児童の運動量を確保するために講堂や運動場を有効的に活用することをめざし、児童が楽しみながら運動ができるように遊び方や用具の工夫、休み時間の講堂の開放、運動場の使い方を見直すとともに、運動できる時間を増やす。」を設定し、1年間学校として取組を進めた。また体育科学習カードの活用を工夫することで児童の運動意欲の向上を図ることができた。学校アンケート「運動が好き」に最も肯定的に回答する児童の割合、令和七年度末目標62.6%以上に対して67.1%と4.5%上回った。肯定的回答も含めると86.7%であり児童の意識としてそれほど低い数値ではない。今後は児童の体力の向上を目指し、体育の授業にラダーやバーピージャンプやストレッチなどの運動を取り入れていくことで少しでも体を動かすように促していく。また遊びのスペースづくりや用具の工夫などの運動環境を整えていく。